

## 開催概要

中国情報通信懇談会は、中国総合通信局及び(一社)中国経済連合会との共催により、令和3年度「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル（第3回・総会）」を次の内容で開催しました。

- ◆ 開催日時 : 令和4年1月14日(金) 14:00～15:30
- ◆ 参加者 : ラウンドテーブルメンバー19名
- ◆ 開催方法 : Zoom ミーティング



**【概要】** 令和元年度から今年度までの取組を総括、また、内閣府及び独自のアンケートの結果を分析し、その中で得られた地方公共団体のデータのデジタル化及び自動化を前提とした業務見直しが必要なこと、必要なデータ項目の見直し及びデータの質の向上が必要なこと等の課題を抽出し、実際取組を進める地方公共団体を中心に意見交換を行った。

その結果、来年度について、今年度と同様に、オープンデータに関する認識を高める企画を3回程度行い、アンケートも引続き行うこととした。

## 「中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル(第3回・総会)」

◆ 開会 中国総合通信局 和久屋局長

◆ 議事

テーマ 1 「オープンデータに関するこれまでの取組について」

(一般社団法人データクレイドル 大島理事)

テーマ 2 「今年度のオープンデータ利活用セミナーの開催報告」

(中国総合通信局 竹下情報通信部長)

テーマ 3 「オープンデータに関するアンケートの取組報告」

①中国地域のオープンデータ推進状況と今後の方向性について

(一般社団法人データクレイドル 大島理事)

②管内5県2政令市へのアンケート結果

(中国総合通信局 竹下情報通信部長)

	オープンデータの推進支援	先導的な活用事例の公開	活用計画コンサルティング	手冊等をまとめたガイドラインの整備	システム導入に関するコンサルディング	低価格の導入パッケージ提供	交付金	オープンデータ作成・公開の作業支援	関係者の取得支援	オープンデータ作成・公開の作業支援ツール提供	アプリコンテストの開催支援	アイデアソン・ハッカソン等の開催支援	推奨データセットの拡充	オープンデータ官民コンラ	その他
鳥取	35.0%	35.0%	15.0%	60.0%	5.0%	15.0%	15.0%	45.0%	60.0%	5.0%				20.0%	5.0%
島根	30.0%	50.0%	10.0%	25.0%		10.0%	15.0%	35.0%	20.0%	20.0%		5.0%		25.0%	15.0%
岡山	28.6%	50.0%	14.3%	42.9%	3.6%		10.7%	50.0%	35.7%	17.9%		3.6%		21.4%	7.1%
広島	25.0%	41.7%	20.8%	58.3%	4.2%	12.5%	29.2%	45.8%	50.0%	20.8%		4.2%	4.2%	16.7%	20.8%
山口	20.0%	40.0%	25.0%	40.0%	5.0%		10.0%	55.0%	60.0%	45.0%				5.0%	50.0%
全国	21.5%	38.9%	14.4%	51.8%	8.2%	15.8%	24.8%	44.0%	46.6%	15.4%	1.3%	2.3%	1.9%	19.5%	12.0%

中国地域のオープンデータ進捗情報と今後の方向性について(大島理事)

続きは↓

テーマ 4 「今年度の取組により得られた課題」

(中国総合通信局 竹下情報通信部長)

➤ 今年度のラウンドテーブル及びアンケートより得られた課題】

- ・地方公共団体の公開データ作成の負担を軽減するために、データのデジタル化及び自動化を前提とした業務を見直し。
- ・必要なデータの項目の見直し（土砂災害危険箇所など）

➤ 内閣官房によるアンケートにより得られた課題】

- ・今後、データ形式は3つ星(CSV及びXML等のフォーマット)以上を原則公開。
- ・推奨データセットに準拠して、データをリアルタイムで更新を実施。

➤ オープンデータ基本指針改定に沿った取り組むべきテーマ案と先行事例(モデル)

オープンデータ基本指針改定に沿った取り組むべきテーマ案と先行事例(モデル)の一覧

オープンデータ基本指針		取組テーマ (案)	モデル (案)
データ公開促進に係る新規追加	有用なデータの公開推進	各府省庁(自治体)にしか提供できないデータ	ニーズの確認 山口県
		様々な分野での基礎資料となり得る信頼性の高いデータ	推奨データセット推進 広島広域都市圏・広島県
		リアルタイム性を有するデータ	手順等をまとめたガイドラインの整備 山口県、鳥取県
データの質の向上に係る新規追加	機械判読性の向上	3つ星 (CSVやXML等のフォーマット) 以上での公開	河川等水位 島根県
		メタ情報公開に向けた環境の整備	自動もしくは半自動での抽出・データ変換 高梁川流域圏
			手順等をまとめたガイドラインの整備 山口県、鳥取県
		官民オープンデータカタログの整備 岡山県	

続きは↓

## テーマ 5 「意見交換」コーディネータ:一般社団法人中国経済連合会 清地常務理事

- 山口県 オープンデータに関して、市町、原課の理解が得られないため、何の役に立つのか効果の実例が必要。また、県で公開を進める必要がある。
- 広島県 地域課題解決や民間サービスの創出につなげるため進めていくべき。まず、職員研修と広島広域圏のサイトに合流するのがスタート。次にデータ利活用環境を整えるため、システムの棚卸し。Doboxなどの各種システムを繋ぐデータ利活用基盤の構築を検討。
- 広島市 データクレイドルに協力いただき、広域都市圏全市町で避難所のオープンデータの公開の取組を進めた。取組を進める中で各自治体からオープンデータ化を進める上での課題も伺った。今後は、何かしらのメリット見いだすことと、データ形式も考える必要あり。
- 岡山県 カタログサイトの更新の機会に、データクレイドルのカタログサイトに乗り換えた。大島理事からは、職員研修もいただき、県内市町村もスタートラインというところ。活用事例を作るべき。
- 鳥取県 H28からポータルサイト運用しているが、市長村の参加が増えない。目的が見いだしにくいので、活用事例を作り、アイデア募集など必要。
- 島根県 全19市町で取組んでいるが、データが増えない課題。県では河川情報のリアルタイム化、砂防危険情報など進めている。

続きは↓

## テーマ 5 来年度の取組について

各種報告及び意見交換を踏まえて、以下の来年度の取組について次のとおり確認した。

- ▶ 来年度の取組については、継続して3回程度の情報共有・意見交換を行う。
- ▶ 取組内容については、以下の課題について検討する。

### ○先進自治体の事例共有

- ・地方公共団体の公開データ作成の負荷を軽減するために、データのデジタル化、及び、自動化を前提とした業務変革
- ・行政の原課への動機づけに繋がる効果的なデータ活用
- ・データのリアルタイム更新
- ・手順書等をまとめたガイドラインの整備

### ○5県2市の防災領域データ整備進捗状況の共有

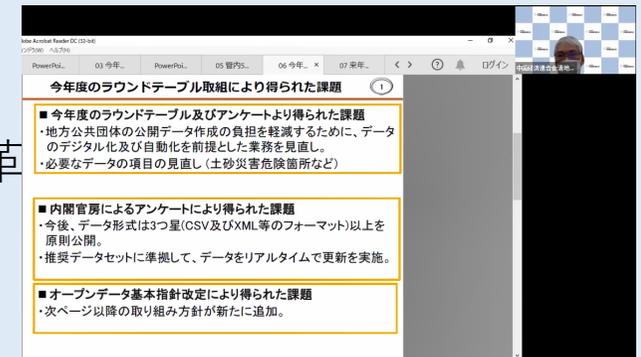
### ○中央の動向・方針（行政のデジタル化、官民データの連携等）を地域内に展開

### ○オープンデータを活用する上での的確なデータ項目への見直し

- ・必要となるデータセットの追加整備（有効なデータの公開推進）
  - 各府省庁、自治体にしか提供できないデータのニーズ確認
  - 様々な分野での基礎資料となり得る信頼性の高いデータの整備

### ○オープンデータ基本指針改定により追加された課題の進捗確認を行う。

- ▶ アンケートについてはデータ項目の見直しを行い、継続して行う。



◆閉会(総括) 相原運営委員長

- ・本ラウンドテーブルは3年目を迎え、多くの自治体の協力をいただき、大きな成果を上げている。
- ・データの継続的かつ効率的な更新をリアルタイムに行うためには、業務自体のデジタルトランスフォーメーション(DX)が必要という点が主要な課題。デジタル庁が発足し各省庁横断の政策を進めているが、可能ならラウンドテーブルの成果をフィードバックする働きかけができればと思う。
- ・来年度に向けた取組として、具体的な事例も含め、取組むべきテーマが示されており、各自治体との調整も必要かと思うが、是非進めていきたいと考えている。
- ・また、活用事例の紹介は、市民向けにも発信したほうがよい。うちの自治体でもやって欲しいというフィードバックが期待できる。ラウンドテーブルとして、これまでにないような周知の取組が出来たらと思う。
- ・来年度も引き続き活動を続けていくことになったので、関係者の方々には引き続きご協力願いたい。

2022年度 中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル スケジュール案

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	情報収集 (4月&6月)	▲中国情報通信懇談会・総会 (6月)	▲第1回会合 (7月)	▲中国情報通信懇談会・運営委員会 (8月)		▲第2回会合 (10月)	▲オープンデータ利活用アンケート (11月)		▲第3回会合・総会 (1月)	▲中国情報通信懇談会・顧問会議 (2月)